



9/12 これからも元気で楽しい人生を ～敬老大会～

▶お年寄りの長寿を願い、さまざまなアトラクションが行われました。



敬老大会を文化センターで開催しました。荒尾市老人クラブ連合会と荒尾市の共催です。

ことし、市内では341人が米寿を迎え、表彰を受けました。米寿を代表者として、元市長の北野典爾さん(野原北)と谷口ハツ子さん(猫宮)が謝辞を述べました。また、老人クラブ連合会の功労者表彰も行いました。アトラクションでは、清里保育園と本井手みのり保育園の園児によるダンスや各地区老人会による演芸などが披露され、700人ほどの来場者を楽しませました。

9/13 熊本県側で初めての着手 ～三池港 IC 連絡路 中心杭打ち式～

▶杭打ちに臨む浦島郁夫熊本県知事



有明海沿岸道路三池港 IC から競馬場跡地までの2.7kmを結ぶ連絡路の現地測量着手に伴う「中心杭打ち式」は競馬場跡地で行われました。

国土交通省福岡・熊本国道事務所・道路建設促進福岡・熊本期成会の主催で、関係者230人ほどが参加しました。式典では、みやじま幼稚園の子どもたちがみこしに中心杭を乗せて登場。その後、工事の無事を願い、15人の代表者が交代で中心杭を打ち込み、早期整備に向けて熱意を新たにしていました。

9/27 荒尾の秋の味覚 ～荒尾梨品評会～

▶梨の糖度は例年より高め。果汁が多いためより甘く感じやすいです。



市特産の荒尾梨「新高」の品質向上とPRを行うため、JAたまなと荒尾梨部会はあらしティモールで荒尾梨品評会を開催しました。

市内の梨農家65軒が腕によりをかけた自信作を出品。梨の糖度・硬度・形・食味など品質を競いました。最優秀賞「優等」には河野秀法さん(下赤田)、大きさを競う「ジャンボ賞」には村上厚さん(井川口)の1.7kgの大玉が選ばれました。会場の外では、梨の試食即売会などのイベントも開催され、にぎわいを見せました。

9/27 ホクホクの秋の恵みに舌鼓 ～カライモ掘り大会～

▶カライモは府本小の6年生が苗床作りから携わり、育てました。



府本地区協議会はカライモ掘り大会を金山下区のカライモ畑で行いました。

会場のカライモは、昔ながらの方法で苗床作りを行い、苗を植え付けて栽培したものです。

市内外から多くの人々が訪れ、金山の赤土から採れる大ぶりのカライモ掘りに挑戦。「大物だね」「ここにもあった」と収穫を楽しみました。カライモの販売ではイモが品切れになる盛況ぶり。カライモ入りカレーなどの振る舞いもあり、参加者は地域の秋の味覚を満喫していました。

9/25 仲良きことは美しきかな ～金婚夫婦表彰式～

▶謝辞を述べる浦池哲夫さん(左)・彰子さん(右)夫妻



金婚夫婦表彰式を文化センターで開催しました。熊本日日新聞社と荒尾市の共催です。

ことしは結婚50年を迎えた57組の夫婦が祝福を受けました。熊日の中村俊隆事務局長は「50年の歳月は皆さんの大切な宝物。いつまでも笑顔で溢れた時間を過ごしてください」と述べました。金婚夫婦代表で元市議の浦池哲夫さん・彰子さん夫妻(打越)は「あつという間の50年でした。これからは健康で穏やかな日々を送りたいですね」と話していました。

9/26 子どもたちもスタッフとして奔走 ～音と光の祭典～

▶一小の6年生による宮崎兄弟についての自作の紙芝居の披露



一小校区元気づくり委員会が10回目となる音と光の祭典を宮崎兄弟の生家で開催しました。

楽器演奏、滔天マルシェやお茶会などが行われ、1,400人ほどがイベントを満喫しました。

夕方になると、70基ほどの行灯と200基以上の竹灯籠に明かりがともされ、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。生家をガイドした一小の6年生は「宮崎兄弟について勉強したことが役に立ってよかったです。接客も勉強になりました」と笑顔を見せていました。

9/27 公子の詩の世界を訪ねて ～海達公子文学散歩道ウォーク&ラリー～

▶荒尾駅前「汽車の音」の詩碑からスタート



荒尾市出身の少女詩人・海達公子の詩碑や縁の地を巡る「文学散歩道ウォーク&ラリー」が開催されました。主催は一般社団法人海達公子顕彰会です。現在、市内に27基の詩碑がありますが、公子の生誕100年を迎える来年には30基目が建立される予定です。

参加者は「公子が見ていた風景を今でも見れるのはとても魅力的。詩碑「ひがん花」のすぐ横にひがん花が咲いていて、季節を感じながら、ウォーキングできました」と話していました。

10/3 歴史を紡ぐ 新しい担い手 ～万田坑市民ガイド デビュー～

▶万田坑ステーションでのガイドの实地研修



万田坑市民ガイドがデビューしました。ガイド育成講座を受け、卒業試験に合格した11人が土・日曜・祝日の夕方に交代で万田坑のガイドを行っています。石炭・万田坑・世界遺産について30分ほどで分かりやすい説明に努める市民ガイドさん。笑顔を誘う話題を選んだり、荒尾のお勧めスポットを紹介したりと工夫を凝らし、訪れた人に「また来たい」と思ってもらえるよう、奮闘中です。11月からはガイド回数を増やし、活躍の場を広げる予定です。